

兄の命と私達の生活をつなぐ税金

白河市立白河第二中学校 3年 本田 侑樹

私の兄と家族が、笑顔で過ごすことができるのは、日本の税金が病気の治療に使われているということ、母から聞いたからでした。

兄が六歳の時、体の具合が悪いので、病院に行くと言ったあの日から、兄は何ヶ月も家に帰ってくるができませんでした。診断は、腎臓病。腎臓は、臓器の中でも、一度悪くなってしまうと、元に戻すことができないと言われており、腎不全になってしまうと、透析や移植が必要になるそうです。兄は、まだその段階ではなかったものの、一度悪くなってしまった腎臓は、薬を使って、今の状態を一生保っていかなければならず、何がきっかけになるかはわからないものの、いつどこで状況が変わるかは、わからないと言われていました。まだまだ幼い私は、兄と急に離れ離れになったことや、病院の付き添いに母が行ってしまう寂しさで、祖母や父には相当迷惑をかけてしまったようで、泣いて、兄に会いたい、母に会いたいと、夜も眠らず、よく目を腫らしていたそうです。私より治療に耐える兄の方が、よほど辛かったはずなのに、大好きな兄に関する、悪い情報しか届かない家の中では、重い空気を感じ取ってか、よく泣いていたといいます。そのような状況下でも、私たちの生活水準は何も変わることがなく、治療費が家計を圧迫するということはありませんでした。その理由が税金にありました。私たちが暮らす地域では、十八歳を迎えて年度が終了するまでの医療費が、無償化だということです。兄に関する、入院費や治療費も無償でした。

消費税は、私もよく知る税金です。唯一、私でも目に見えて支払うことができる税金なので、物を買う時には、この税金が困っている誰かの役に立ちますようにと思いながら支払いをしています。所得税、住民税、健康保険税など、一般的な家庭の私たちが支払う税金を調べてみると、何のための税金なのか、その税金で何ができるのかなど、明確になっていき、自分たちの暮らしに大きく関わっていて、支払っている自分たちも、助けられているということがわかりました。特に兄の病気に関して、治療費が無償化とはいえ、どれだけの入院費や検査費、治療費、薬代がかかっているのか、調べてみると、正直、私たちの生活は成り立ちません。税金をどのような形で役に立てるかは、それぞれの地域で違うと思いますが、子供育成に関して、私たちの地域では多くの税金が活用されています。その一つが、子供医療費助成でした。

兄の命は、税金によって助けられ、また私たちの生活も、その兄を助けてくれた税金によって成り立っていたのです。こうして命をつなぐこともできるのも、税金が私達の生活の中で活きているからです。これからも、兄や困っている人を助けることができる税金に感謝し、私も、しっかり納めていきたいと思っています。